

市民公開講座「乳がん」の報告書

2017年3月14日

報告者：京都薬科大学 臨床腫瘍学分野 教授
がんプロコーディネーター 吉貴 達寛

日時：2017年2月11日（祝・土）14：00～16：20

場所：京都薬科大学 愛学館3階 愛学ホール（A31講義室）

主催：文部科学省 がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

後援：一般社団法人京都府薬剤師会

参加者数：94名

内訳：一般 38名（京都市内 28名、京都市外 7名、記入なし 3名）

本学 56名（学部生 25名、大学院生 5名、教職員 24名、記入なし 2名）

概要：本市民公開講座は、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン（以下、がんプロセス）主催のもと、一般市民の方々に向けて、がん診療に対する知識の啓発活動の一環として行われ、今回は乳がんの、①緩和ケア、②最近の治療の進歩について、滋賀医科大学附属病院 薬剤部治験等管理室長 森井博朗先生、京都大学医学部附属病院 乳腺外科教授 戸井雅和先生からご講演をいただいた。

内容：

まず、滋賀医科大学医学部附属病院（以下、滋賀医大病院）薬剤部治験等管理室長の森井博朗先生から、「もっと『緩和ケア』のことを正しく知ろう！～「こころ」と「からだ」の痛みを和らげるがん医療を目指して」と題して、緩和ケアに関するご講演をいただいた。

最初に緩和ケアの歴史について説明があり、続いてがん医療における緩和ケア、緩和ケアを受ける時期、痛みの治療方法について、市民の方にご理解していただくためにわかりやすく説明がなされた。特にがん疼痛に使用する医療用麻薬に関しては市民の関心度が高いことにも鑑み、WHO方式がん疼痛治療法のがん疼痛目標や三段階除痛ラダーの説明だけでなく、医療用麻薬の誤解を解くために医療用麻薬と不正麻薬の違いとモルヒネ依存や耐性抑制のメカニズムについてイラストを用いて説明がなされ、特にオピオイドの痛みがある場合には医療用麻薬を使用しても依存症にならないことを強調された。

またがんと診断された時からがん治療と同時に緩和ケアが行われることの重要性を説明され、緩和ケアは決して特別な治療ではないことを強調された。最後に、滋賀医大病院でのがん患者サロンやがん教室の紹介があった。講演終了後に市民の方々から、「医療者にどのように痛みを伝えればいいのか？」、「医療現場に緩和ケアがどれくらい浸透しているのか？」などの質問があり、一般市民の方だけでなく、医療従事者も緩和ケアについての正しい理解を深め、緩和ケアの普及が急務であることを改めて認識できた講演であった。

引き続き、京都大学医学部附属病院 乳腺外科教授 戸井雅和先生から「最近の乳がん治療の進歩」と題してご講演をいただいた。戸井教授は St. Gallen コンセンサス会議に Voting を行うパネラーとして参加される本邦を代表する乳がん治療のエキスパートである。

本講演は、数字の“5”に合わせて展開されており、まず乳がんの発生頻度が、わが国や東洋で“50 歳代”に最も高いことが紹介された。また乳がんは治療の観点から“5 種類”に分けて考え、ホルモンやサイトカインの受容体であるエストロゲン受容体および HER2 の発現により 4 つに分類され、エストロゲン受容体陽性/HER2 陰性乳がんを概念的におとなしい乳がんと高悪性度乳がんの 2 つに分類されることが紹介された。

発見される際の乳がんの大きさについて、欧米のデータが紹介された。早期がんとは *in situ* 癌、1.0 cm 未満、1.0-1.9 cm のサイズのものをいい、発見された乳がんのうち、それぞれ 22%、18%、27%であり、画像的検査で 1.0 cm 未満、1.0-1.9 cm のサイズのものが発見される。触診で発見される 2.0-2.9 cm 大の乳がんは 15%、3.0-4.9 cm 大の乳がんは 11%、5.0 cm 以上の乳がんも 7%であった。

また治療法も手術療法、放射線療法、ホルモン療法、抗がん剤、および分子標的治療薬の“5 種類”であることが紹介され、5 種類の乳がんの特徴に見合うように、5 種類の治療法が選択されるということであった。エストロゲン受容体陽性/HER2 陰性乳がんのうち、高悪性度の乳がんには、抗がん剤治療、ホルモン療法の強化（併用療法や長期間治療法）、新規の分子標的治療薬による治療が組み合わせて行われるとのことであった。さらに、乳がんに対して治療効果が期待できる新規分子標的治療薬として、CDK4/6 阻害薬と PARP 阻害薬が紹介された。また HER2 陽性乳がんは本来悪性度が高い乳がんではあるが、がん遺伝子 *HER2* の遺伝子産物である HER2 タンパク質に特異的に結合するトラスツマブの登場により、治療成績はめまぐるしく向上し、現在ではトラスツマブに細胞毒性物質 DM1（エムタンシン）を結合させた抗体薬物複合体 T-DM1（商品名：カドサイラ）が登場し、さらに治療成績の向上が期待できるとのことであった。

手術と放射線療法を組み合わせた治療法では、局所のエスカレーションとデスカレーション、2つの方向性が現在の主流であることが示された。エスカレーションの考え方としては、予防的に（全）乳房切除術を行い、かつ乳房再建術を施すもので、一方のデスカレーションとしては、狭い範囲の切除でよいものは小さく乳房を切除する、術前治療を行い狭い変異に絞り小さく切除するというものである。またリンパ節転移に対する手術としては、一番初めにリンパ行性に転移するセンチネルリンパ節の術中生検による病理診断で行うが、近年では腋窩リンパ節への転移を画像的に評価し、転移のない場合、限られた転移が認められる場合、広く転移が認められる場合とに分けて、それぞれ放射線療法とリンパ節廓清手術の適応を考えるようになっている。ホルモン療法が有効な症例においては通常 5 年間行うが、再発リスクの高い場合は 10 年間のホルモン療法を行う。

乳がんのリスク要因としても遺伝、女性ホルモンの暴露（出産時期、授乳の有無）、肥満、運動、および生活習慣の“5 つ”が挙げられ、特に遺伝的要因としては、損傷を受けた DNA を修復する BRCA1/2 タンパク質をコードするがん抑制遺伝子 *BRCA1/2* の変異が挙げられ、70 歳まで 87%（卵巣がんで 44%）が発症する。アメリカの女優のアンジェリーナ・ジョリーが乳がん発症のリスクを下げるために予防的に乳房切除術を受けたことは有名な話である。

最後にトリプルネガティブ乳がんについて話があった。トリプルネガティブ乳がんとは、エストロゲン受容体、HRE2、プロゲステロン受容体の 3 つが陰性の予後不良の乳がんである。この乳がんにはいくつものサブタイプがあり、BRCA1/2 遺伝子変異を初め、多くの遺伝子変異が混ざったグループであり有効な治療薬がなかったが、先に述べた PARP 阻害薬が期待できる新規治療薬として挙げられた。

講演終了後、聴衆者からいくつもの質問があり、乳がん治療の最新の情報を共有することができた。

終了後、アンケート調査を行い、64 名の聴衆から回答をいただいた。結果は（別添）のとおりであるが、プログラム内容・構成、講師について、おおむね多くの方々から「大変満足・満足」という結果をいただいた。ただ広報活動については、「もっと広くアナウンスされたら」というご意見をいただいた。我々もこの点については、さらに改善すべき点と認識しており、今後の公開講座の開催までに対策を講じていきたい。



講演風景



森井博朗先生



戸井雅和先生

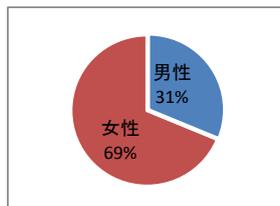
第2回市民公開講座「乳がん」アンケート集計結果

日時: 2017年 2月 11日 (祝・土) 14:00~16:20
 会場: 京都薬科大学 愛学ホール (A31講義室)
 参加人数: 94名
 アンケート回答: 64名 (回答率68%)

1. 聴講された方について

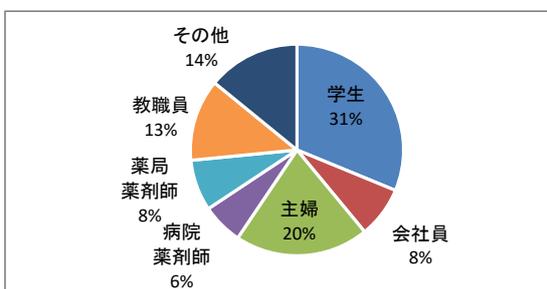
① 性別をお知らせください。

	男性	女性	計
人数	20	44	64
%	31%	69%	100%



② 職業をお知らせください。

	学生	会社員	主婦	病院 薬剤師	薬局 薬剤師	教職員	その他	計
人数	20	5	13	4	5	8	9	64
%	31%	8%	20%	6%	8%	13%	14%	100%



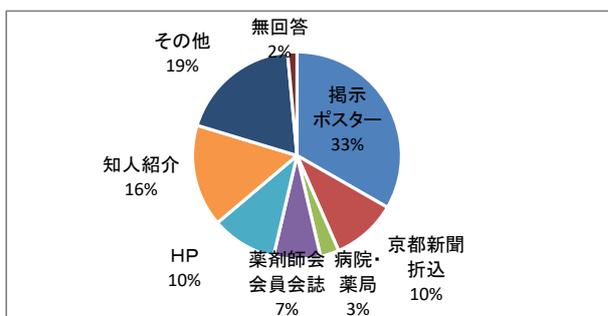
その他

医療事務パート	1
理学療法士	1
ケアマネジャー、患者	1
記入なし	6
計	9

2. 本講座の開催は、何でお知りになりましたか。

	掲示 ポスター	京都新聞 折込	病院・ 薬局	薬剤師会 会員会誌	HP	知人紹介	その他	無回答	計
人数	23	7	2	5	7	11	13	1	69
%	33%	10%	3%	7%	10%	16%	19%	1%	100%

(複数回答あり)



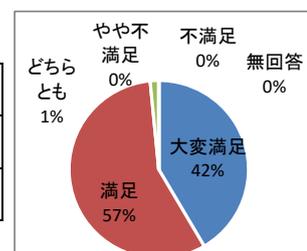
その他

11月がんプロ講座	1
京都乳がんピアサポートサロン ~fellows~	1
学内のお知らせ	1
子供の紹介	1
薬科大学関係者より直接	1
SP	1
先生から	1
記入なし	6
計	13

3. プログラムについて

① 今回のプログラムの内容はいかがでしたか。

	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	27	37	1	0	0	0	65
%	42%	57%	2%	0%	0%	0%	100%

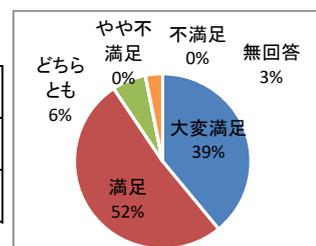


(複数回答あり)

理由	評価	性	職業	回答No.
興味のある内容でした。(前半のみ聴講)	大変満足	男	学生	1
市民公開講座ということもあり、専門的な内容を分かりやすい言葉で説明して下さったので、今まで理解できていなかった内容に関して深い理解が得られた為。	大変満足	女	学生	3
聞きたい事をきけた。(緩和ケアについて)	大変満足	女	主婦	16
内容的には満足ですが、もう少し時間をかけて欲しかった。	大変満足	男	会社員	20
講演に対して、一般の患者さんが来られて、その実情や考えを聞く場にもなっていたので。	大変満足	女	教職員	21
専門的な部分が少々理解しにくかったが、一般人でも分かりやすく説明していただけたと思います。	満足・どちらとも	女	主婦	22
知らなかった事や、後の質問など大変勉強になりました。自分がもしがんになった時に役立つと思いました。	大変満足	女	主婦	23
緩和ケアという内容の事がわかりやすかったので、良かったです。	大変満足	女	主婦	25
「緩和ケア」とは何かがよく理解できた。	満足	女	主婦	29
講演1で市民の患者さんの声が聞けて良かった。	満足	男	学生	31
緩和ケアの重要性を再認識できた。	満足	男	会社員	36
良かったと思います。(緩和ケアについて)	満足	女	主婦	41
市民公開講座ということもあり、来られている患者さんの意見や臨床で働かれている先生方のおはなしがきけて良かった。	大変満足	女	学生	45
本当に貴重なお話を聞くことができた。概念が変わったところが多かった。	大変満足	女	学生	48
最新の情報をきくことができた。薬剤師になるにあたって、切っては切れない内容であった。	満足	男	学生	49
緩和治療については、私も終末期にするものというイメージをもってしまっていたので、今回の講座で考えを改めることができたため。	大変満足	女	学生	53
がん治療の第一線で活躍されている先生方のお話がきけてよかったです。	満足	女	薬局 薬剤師	59
講演1と2で、違った観点からの講演で、深い内容であったと感じ、満足しております。	満足	女	学生	61
分類をベースに治療選択肢の説明があったのが、とても解り易かったです。	大変満足	女	その他	62
一般の方にも、研究者にも興味もてる内容だった。	大変満足	女	教職員	64

②プログラムの構成はいかがでしたか。

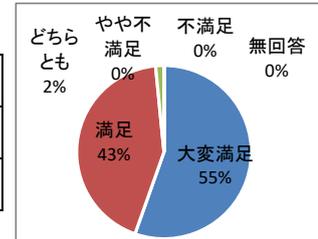
	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	25	33	4	0	0	2	64
%	39%	52%	6%	0%	0%	3%	100%



理由	評価	性	職業	回答No.
前半のみしか聞けませんでした。	どちらとも	男	学生	1
前半、後半、逆でも。	無回答	女	その他	12
午前中の開催にしていきたい。	満足	女	主婦	22
乳がんにも種類があり、治療も種類により違う事がよくわかりました。	大変満足	女	主婦	25
専門用語が難しかった！	満足	女	主婦	41
乳がんについての内容をからめた上での緩和治療を聞いてから、現在の乳がんの治療についてという流れでとても分かりやすかったため。	大変満足	女	学生	53
参加しやすい日程、時間帯でよかったです。	満足	女	薬局 薬剤師	59
講演2のみ参加しました。	どちらとも	女	その他	62
森井先生のお話は、一般の方、患者さんにとって有意義な内容で、戸井先生のお話は、研究者も対象に含めた興味深い最新の情報が得られた内容だった。	大変満足	女	教職員	64

4.講師・演者について

	大変満足	満足	どちらとも	やや不満足	不満足	無回答	計
人数	36	28	1	0	0	0	65
%	55%	43%	2%	0%	0%	0%	100%



(複数回答あり)

理由	評価	性	職業	回答No.
一般の方への言葉の選択が非常に勉強になりました。	大変満足	男	学生	1
戸井先生のご講演は理解できましたが、患者様には難しかったのでは。森井先生はとても患者よりで良かったです。	大変満足	女	会社員	8
わかりやすくて良かった。	大変満足	女	その他	13
医療麻薬、リンパ浮腫などわかりやすく説明、お話しただけだったので良かったです。	大変満足	女	会社員	15
薬剤師、医師別々の職種の方からのお話しが聞けて良かったです。	満足	女	薬局 薬剤師	18
今の治療の現状が良くわかって良かった。	大変満足	女	教職員	21
内容がわかりやすかったです。	大変満足	女	主婦	25
緩和ケアのお話しは、患者にとってとてもわかりやすく、希望を感じるご講演でした。	満足	女	主婦	29
著名な講師さんで良かったです。	大変満足	男	学生	31
わかりやすく説明して頂きました。メモしたかったのですが、間にあいませんでした。説明の資料があれば・・・。	満足	女	主婦	41
乳がんの治療について、薬・手術の観点から再発抑制についての話を聞くことができ、治療後の薬物投与が大事になってくると再確認することができました。	大変満足	女	学生	53
医療者向け、学生向けの内容で満足しました。	大変満足	女	主婦	55
わかり易く、ゆっくり説明いただき有難うございました。	満足	女	その他	57
わかりやすくお話しただいてありがとうございました。	大変満足	女	薬局 薬剤師	59
大変お忙しい中、森井先生、戸井先生においでいただき、素晴らしい講演が聴けたと思っております。	満足	女	学生	61
同上	大変満足	女	教職員	64

5.その他

①このような講座があれば、また受講したいですか。

	はい	どちらとも	いいえ	無回答	計
人数	60	3	0	1	64
%	94%	5%	0%	2%	100%



②他に「がんに関する内容」で聴講してみたい内容がありましたらご記入ください。

聴講してみたい内容	次回受講希望	性	職業	回答No.
緩和のこころのケアにおいて薬剤師の具体的な役割について	はい	男	学生	1
在宅での末期がん治療(薬剤師として、どんなことが出来るのか)	大変満足	女	学生	3
放射線治療	はい	男	教職員	7
肺がん。免疫チェックポイント阻害剤と分子標的薬について学びたい。副作用対策について知りたい。	はい	女	会社員	8
膵臓がん、IPMN粘液についてお聞きしたいです。	はい	女	学生	9
血液がん 小児治療終了後のサポートなど、標準的な治療の種類や流れ	はい	女	薬局 薬剤師	10
胃ガン	はい	女	その他	13
大腸癌、肺癌	はい	女	会社員	15

聴講してみたい内容	次回 受講希望	性	職業	回答No.
食事療法とリハビリ療法 もつとトリプルネガの話が聞きたいです。	はい	女	主婦	16
肺がん	はい	男	教職員	17
肝臓がん	はい	女	主婦	25
がんの本質、治療は、日々アップデート(日進月歩)ですので、定期的に同様のシン ポジウムの開催をお願いします。	はい	男	教職員	26
肺がん	はい	女	教職員	28
治療薬が私達の体の中でどの様に作用しているのか、副作用は？生活に与える影 響は？	はい	女	主婦	29
前転移微小環境について 研究者向けの講演	はい	男	学生	31
乳ガンの免疫療法について知りたいです。	はい	女	主婦	32
多職種連携を意識して、医療系及び介護職などの医療側に立つ非医療従事者へ の薬や病気のセミナー等	はい	男	学生	35
・転移がんに対する治療 ・DDS	はい	男	会社員	36
肺がん	はい	女	病院 薬剤師	39
肺がん	はい	女	主婦	40
がんの転移	はい	男	学生	49
転移	はい	男	学生	51
抗がん剤について	はい	女	その他	54
薬剤について詳しく聴いてみたいです。新薬の開発とか。	はい	女	その他	57
治験中、開発中の薬剤について教えて下さい。 私も患者の一人なので“希望”になります。	はい	女	薬局 薬剤師	59
血液系癌(白血病、骨肉腫)	はい	男	学生	60
細胞のがん化メカニズムについて勉強したいです。	はい	女	その他	62
抗がん剤の開発での成功事例	はい	女	教職員	64

③本セミナーを聴講されてお気づきの点がありましたら、自由にご記入ください。

お気づきの点	次回 受講希望	性	職業	回答No.
スライドのコピーをいただければありがたかったです。	はい	男	学生	1
後半、座長の個人的意見は少しききにくい(論的)と感じた。 市民公開講座なので、慎むべきでは。	はい	女	会社員	8
本日は参加させていただきありがとうございました。	はい	女	会社員	15
乳がんの話、むずかしかった。(私のタイプとちがう話を中心だったので、トリプルネ ガの質問があり、少し勉強出来ました。)(トリネガの患者です。)	はい	女	主婦	16
パンフレットの配布だけでなく、もうすこし資料の配布があればありがたいです。	はい	女	薬局 薬剤師	18
時間の都合で全ての講座が聴講できず残念でした。	はい	女	主婦	22
本学学生の参加数を増やす「仕掛け」を皆で考えてみたいです。	はい	男	教職員	26
学校に入ったところに案内板を出しておいてほしい。(どの建物かわからなかった。)	はい	男	会社員	36
大変勉強になりました。 知人も誘ったらよかったです！と思いました。次は知人も一緒にと思います。	はい	女	主婦	41
レジメンの監査や投与計画について薬剤師が介入できるポイント	はい	女	病院 薬剤師	43
医療についての教育を小学校・中学校で何らかの形で行えたらいいと思った。	はい	男	学生	49
市民公開講座ということで、とても分かりやすく説明して頂いたので、理解に役立て られました。また、実際の患者さんが演者の方に質問することがあり、患者さん側の 意見も聞くことができ貴重な経験ができたと感じました。	はい	女	学生	53
学生さんからの活発な質問があり、頼もしく思いました。	はい	女	その他	57
研究者の先生から学生さん患者さんまで参加されておられて、感動しました。京都 府薬剤師会が後援ですが、会員さんは参加されてましたでしょうか。私は大阪府薬 剤師会の会員ですが、このプログラムを在校生である娘から聞きました。せつくな のでもっと広くアナウンスされたらよいのと思いました。	はい	女	薬局 薬剤師	59